

令和3年度
第1回企画展

疫病退散！

祈りかなえたまえ

大坂山口神社の神像群

会期 令和3年4月29日(木・祝)～6月13日(日)



木造牛頭天王立像（鎌倉時代末期）
（大坂山口神社）



木造牛頭天王立像（鎌倉時代）
（大坂山口神社）

香芝みらい創造プロジェクト

香芝市二上山博物館

Kashiba City Nijyousan Museum

〒639-0243 奈良県香芝市藤山1-17-17
香芝市文化施設 ふたかみ文化センター
TEL 0745-77-1700 FAX 0745-77-1601
URL <http://kashiba-mirai.com/>

【ご来館される皆様へ】コロナウィルス感染拡大防止のためにマスクの着用、体温測定と手の消毒にご協力ください。

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日 会期中の毎週月曜日
（国民の祝日、振替休日に当たる場合は翌日以降最も近い平日）
- 観覧料 一般 200円、高・大学生 150円、小・中学生 100円
（未就学児は無料）
（20名以上の団体は各料金から50円引き）

疫病退散！ 祈りかなえたまえ 大坂山口神社の神像群

令和3年度第1回企画展は、市内に所在する2つの大坂山口神社の中から、逢坂の大坂山口神社に伝わる神像を展示します。

大坂山口神社は、逢坂の集落の西側、交通の要衝であった近世の伊勢街道に面しています。現在の本殿は、寛永15(1638)年の創建と考えられますが、古式の桃山時代の三間社流造の建築様式を残していることから、昭和63年に奈良県有形文化財に指定されました。神社には、平安時代から鎌倉・室町・江戸時代の8種類の神像11体や狛犬8体を始め、和銅5年銘(追記)の竹製の筒に納められた「宮座文書」等が伝来しており、平成14年に香芝市有形および民俗文化財に指定されています。

同社の由来は、『日本書紀』崇神9年3月条に「黒盾・黒矛を大坂神に祀れ」とあり、天武8年11月条には、「関を大坂山に置く」という記述があることから、古くは、崇神・天武天皇の御代から、大和政権によって、大和盆地の西を守護する神として祀られていたことがうかがえます。

大坂山口神社の祭神は、「大山祇命」^{おおやまづみのみこと}、「須蓋鳴尊」^{すさのおのみこと}、「神大市姫命」^{かみおおいちひめのみこと}であり、近世には「牛頭天王社」と称して疫病退散を願う人々の信仰をみつめました。

いつの時代も人々の病氣平癒と健康を願う気持ちは同じです。大坂山口神社から二上山博物館に寄託された保管資料の中から、今回は、普段は非公開の鎌倉時代から江戸時代までの神像・狛犬を展示します。コロナウィルスの影響が長引く中、疫病退散を願って、この神像群に願いを託してみませんか！

企画展講演会「記紀・万葉集にみる大坂の神」

日 令和3年6月8日(火)
時 14:00～16:00(開場13:00～)

講師 香芝市教育委員会生涯学習課職員

会場 ふたかみ文化センター 市民ホール

対象 市内在住またはお勤めのかた、ふたかみ倶楽部会員

資料代 ふたかみ倶楽部会員無料、一般200円

定員 140名(先着順、事前申込必要)5月8日(土)から受付開始

申込方法 住所・氏名・電話番号をご記入の上、博物館窓口でお申し込み頂くかFAXにてお申し込みください。

博物館友の会ふたかみ倶楽部共催事業

【ご来館される皆様へ】コロナウィルス感染拡大防止のためにマスクの着用、体温測定と手の消毒にご協力ください。新型コロナウィルス感染拡大の状況により開催日直前に関連催事の中止や順延を決定する場合があります。

香芝みらい創造プロジェクト

香芝市二上山博物館

〒639-0243 奈良県香芝市藤山1丁目17-17ふたかみ文化センター1F
TEL 0745-77-1700 FAX 0745-77-1601

Mail: nijyouzan@city.kashiba.lg.jp

URL: http://kashiba-mirai.com/

開館時間: 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日: 毎週月曜日(国民の祝日、振替休日に当たる場合は翌日以降最も近い平日)

最寄り駅からの略図



●電車でお越しの方

近鉄下田駅下車→西へ徒歩約8分
JR香芝駅下車→西へ徒歩約12分

●お車でお越しの方

西名阪自動車道
香芝インターチェンジ→南へ約15分

※駐車場有、満車の場合は向かいの市役所南外に駐車ください(無料)

香芝市二上山博物館
LINE公式アカウント
@425idbpx

随時イベントなどの情報を
お知らせいたします